

令和3・4年度 複合構造委員会 第1回幹事会 議事録

日 時：2021年（令和3年）5月19（水）14:00～17:00

場 所：Web会議

出席者：松本委員長，牧副委員長，齋藤（隆）幹事長，大久保幹事，夫山幹事，川端幹事，北根幹事，~~斉藤（成）幹事~~，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事，岡崎事務局

配布資料：

- 幹1-0 令和3・4年度複合構造委員会第1回幹事会議事次第
- 幹1-1 令和1・2年度複合構造委員会第12回幹事会議事録（案）
- 幹1-2-1 令和3・4年度複合構造委員会幹事会名簿・業務分担
- 幹1-2-2 令和3・4年度複合構造委員会組織図・委員交代，追加
- 幹1-2-3 常設および第1種委員会の委員変更・追加
- 幹1-2-4 令和3・4年度複合構造委員会小委員会作業分担(案)
- 幹1-2-5 令和3・4年度複合構造委員会スケジュール(案)
- 幹1-3 令和3・4年度複合構造委員会委員構成
- 幹1-4-1 令和2年度委員会予算執行状況
- 幹1-4-2 令和3年度委員会予算（案）
- 幹1-4-3 【メール審議】H216の活動費の補助について
- 幹1-5 令和2年度委員会活動度評価結果
- 幹1-6-1 令和3年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果
- 幹1-6-2 令和3年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果・別紙資料
- 幹1-7 (仮)300年超長期暴露研究小委員会 設立趣意書
- 幹1-8 土木学会全国大会/第76回年次学術講演会/プログラム編成(案)
- 幹1-9 土木学会全国大会/研究討論会(案)
- 幹1-10 第14回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 幹1-11 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹1-12 複合構造の継続教育
- 幹1-13 出版関連報告
- 幹1-14 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹1-15 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹1-16 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹1-17 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹1-18 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹1-19 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹1-20 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹1-21-1 令和3・4年度複合構造委員会第1回委員会議事次第(案)
- 幹1-21-2 親委員会での報告・発表に関する意見募集
- 幹1-22 田中賞選考委員会かけはし賞について
- 幹1-23 新規小委員会の設立に関する意見募集

議事内容：

1. 委員長挨拶

新体制の幹事会第1回の開会にあたり、松本委員長より挨拶がなされた。

2. 自己紹介

各幹事の自己紹介がなされた。

3. 複合構造委員会第11回幹事会（令和1・2年度）議事録案確認（資料 幹 1-1）

齋藤幹事より、資料に基づき説明があり下記の修正を行い、了承された。

- ✓ H216 小委員会報告「松本副委員長幹事」→「松本副委員長」に修正。

4. 令和3・4年度複合構造委員会幹事会体制ほか（資料 幹 1-2-1～幹 1-2-5）

齋藤幹事長より、資料に基づき、幹事会の役割分担および体制について説明がなされた。

委員の追加、更新がまだ終わっていない委員会があるため、資料の修正を行った上で、親委員会の資料とする。資料は親委員会の前に齋藤幹事長から幹事にメールで周知して確認する。主な修正点は下記の通りである。

- ✓ H003 選挙管理小委員会の委員
- ✓ H006 継続教育小委員会に塩畑幹事を追加
- ✓ H219 小委員会の人数
- ✓ H001 シンポジウム小委員会の体制は、牧副委員長が検討して作成
- ✓ H005 土木学会論文集特集号編集小委員会体制

5. 令和3・4年度複合構造委員会委員構成（資料 幹 1-3）

齋藤幹事長より報告がなされた。

- ✓ 委員は委員長が推薦して幹事会にて確認して決定である。
- ✓ 各委員への打診は、これから齋藤幹事長より行う。
- ✓ 継続をお願いする委員のうち、年齢が65歳を超えた方（4/1時点で66歳以上）は運営細則に従い顧問として依頼する。
- ✓ 資料の委員のほかに、次の方が委員候補として挙げた。今後、委員就任を打診していく中で断る方もいると思われるので、人数のバランスを見ながら、松本委員長、牧副委員長、齋藤幹事長で委員就任を依頼するかを検討する。
候補に挙げた方：櫛原先生（福岡大学）、松村先生（熊本大学） 山口先生（長崎大学）
- ✓ 道路関係では、これまで高速道路総合技術研究所から橋梁担当部長が就任していることから、現在の橋梁担当部長に委員就任を打診する。

6. 令和2年度委員会決算と令和3年度委員会予算案（資料 幹 1-4-1, 幹 1-4-2）

齋藤幹事長より報告がなされた。

- ✓ R2年度決算は、予算798,000円（調査研究費604,000円、拡充支援金194,000円）に対し、支出442,420円、残高355,580円であった。

- ✓ R3 年度予算は未決定であるが、調査研究費 696,000 円に加えて、調査研究拡充支援金が前年度の繰り越し分と今年度分がある。
- ✓ 学会の予算配分は、7月に決定するので、その後、今年度予算案を決める。
- ✓ 重点研究課題の予算は、100万円である。

7. 令和2年度委員会活動度評価結果（資料 幹 1-5）

齋藤幹事長より報告がなされた。

- ✓ R2 年度の活動度は 1262 点であった。最終通知は未受領であるが、おそらく昨年度と同様にランク B になると想定される。
- ✓ 各講習会がオンラインセミナーとなり、参加者が増えている。これがカウントされることで、ほかの委員会も含めて全体的に点数が増加傾向にある。

8. 令和3年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果（資料 幹 1-6-1～幹 1-6-2）

齋藤幹事長より報告がなされた。

- ✓ R3 年度の重点研究課題は、複合構造委員会「300年の超長期暴露を目指した土木構造物の持続性に関する研究」とコンクリート委員会「新しいアルカリ活性材料を用いた低炭素社会におけるインフラ構築に関する研究」が採択され、それぞれ予算は 100 万円となった。

9. 重点研究課題に関する小委員会の設立（資料 幹 1-7）

大久保幹事より報告がなされた。

- ✓ H108 土木構造物の 300 年暴露プロジェクト小委員会として委員会設立趣意書を作成したので、親委員会で提示する。
- ✓ 予算は 200 万円を申請したが、最終的に 100 万円となった。
- ✓ 委員構成は、R3-4 年度幹事のほか、材料メーカーに参画を依頼する予定である。
- ✓ 親委員会でも、委員会への参画の希望を募る。
- ✓ 3つの活動内容で WG を立ち上げ、大山幹事、北根幹事、皆田幹事に WG 主査をお願いしている。

10. 令和3年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）（資料 幹 1-8）

皆田幹事より報告がなされた。

- ✓ 複合構造物のセッションは、昨年より多く 26 編の投稿があり、4 セッションとなった。

11. 令和3年度全国大会・研究討論会（資料 幹 1-9）

平幹事より報告がなされた。

- ✓ 土木学会より連絡があり、研究討論会は 9/6（月）-9/7（火）に Zoom または YouTube での配信となり、複合構造物委員会の枠は、9/6（月）の午前中となった。
- ✓ 複合構造委員会では、「プレハブ・プレキャスト工法で創られる未来の社会インフラ像とその課題」と題して、内藤幹事が座長となり実施する。
- ✓ 配信方法は、昨年度と同様に LIVE 形式または録画形式を選択することになっており、録画形式での配信とする予定である。

12. 第14回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹 1-10）

仁平幹事より報告がなされた。

- ✓ 今年度は建築学会主催であり，11/25（木）-26（金）に開催する。
- ✓ 現在，原稿の募集中であり申込締め切り日は5/28である。
- ✓ 建築学会より，特別講演を実施するとの連絡あり，今後，土木側の講演者を決める必要がある。

13. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造（資料 幹 1-11）

橋本幹事より報告がなされた。

- ✓ 特集号は5月末に発刊予定であり，招待論文2編，論文2編，委員会報告1編である。
- ✓ H005 論文集特集号編集小委員会 第5期（R3-4）体制案が示された。
- ✓ 土木学会より，論文集の編集用システムが変更される可能性があるとの連絡があり，費用が増える可能性がある。

14. 複合構造の継続教育（資料 幹 1-12）

中村幹事より，資料に基づき第2回小委員会で議論された内容について報告がなされた。

- ✓ 講師の人選がこれまで歴代の複合構造委員会委員長に偏っていたので，どのようにするか今後も検討していく。
- ✓ これまでの講演会形式とは違い，受講者に演習や議論をしてもらう講義形式での開催も検討している。
- ✓ 2期目（2021.4～）の体制案が示された。

15. 出版関係報告（資料 幹 1-13）

平幹事より報告がなされた。

- ✓ 示方書のオンデマンド販売は，現在，出版委員会事務局にて準備中である。
- ✓ 複合構造レポート8は，例年，この時期に教科書として30～40部が販売されているが，コロナの影響で今年は教科書としての販売はなかった。
- ✓ 昨年度講習会を実施した複合構造レポート15，16については，講習会後も販売部数が伸びている。

16. 小委員会報告審議事項（資料 幹 1-14～幹 1-20）

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

牧幹事より報告がなされた。

- ✓ 2019年発刊で動き始めたが，示方書の構成を大きく変えることとなり，工程が遅れている。委員長，幹事長で内容を固めた上で再度活動を開始する予定である。
- ✓ 次回の親委員会で渡辺委員長から状況説明があるとのこと。

(2) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

川端幹事より報告がなされた。

- ✓ 第2期はR3年度8月までの予定だったが，今年度末まで延長のお願いがあり，了承された。
- ✓ 委員が1名追加されることを確認した。

(3) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

仁平幹事より報告がなされた。

- ✓ 2021年6月までで報告書を取りまとめ中。8月に報告書原稿提出，11月講習会実施予定。
- ✓ 原稿の準備ができ次第，担当幹事に通読をお願いする。

(4) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

橋本幹事より報告がなされた。

- ✓ 第2期は，R2年9月から開始した。
- ✓ 委員が1名追加されることを確認した。

(5) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

大久保幹事より報告がなされた。

- ✓ 小委員会の期間はR3年7月までである。
- ✓ 現在，通読を踏まえた報告書の修正を行っており，5/28最終原稿完成予定である。
- ✓ 通読の指摘に対しては修正対応済み。
- ✓ 講習会を9/16（木）に実施予定。松本委員長，牧副委員長に開会，閉会の挨拶をお願いする。

(6) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会

川端幹事より報告がなされた。

- ✓ 6月に第2回全体委員会を開催予定である。

17. 第1回委員会議事次第（資料 幹 1-21-1, 1-21-2）

齋藤幹事長より，資料に基づき説明がなされた。

- ✓ 講堂・WEBを併用して開催予定である。
- ✓ 第8回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム優秀講演者から話題提供をお願いすることとする。
- ✓ 優秀講演賞4名のうち，発表時に社会人であった2名に講演を齋藤幹事長から依頼する。

18. その他

(1) 田中賞選考委員会かけはし賞について（資料 幹 1-22）

齋藤幹事長より，説明がなされた。

(2) 新規小委員会の設置に関する意見募集（資料 幹 1-23）

塩畑幹事より，説明がなされた。

- ✓ 活動中の小委員会のうち，今年度に半分が終了するので，アイデアを募集する方法について提案された。
- ✓ H27-28 第2回幹事会でもアイデア出しを行ったことがある。
- ✓ 委員会の形まで提案頂かなくても，困りごと，課題レベルの事を出してもらおうという形がいいのではないかと。
- ✓ 資料を修正して親委員会にアイデア募集を行い，その後，アイデアをもとに第2回幹事会で検討

する.

以上
(記録：平)